

# 令和5年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例報告書

## 佐世保市立広田中学校

教育目標「我が広田を誇りに思う生徒の育成」

校訓「賢く 優しく 遅しく」

所在地 〒859-3224 長崎県佐世保市重尾町188番地

校長 高橋 正伸

中学1～3年生徒数 452名 (R5.5.1)

学級数 通常学級13・特別支援学級2

小学6年児童数 164名 (R5.5.1)

学級数 通常学級5・特別支援学級3



### 1 はじめに

本校は、近隣にある佐世保市立広田小学校の児童数増加に伴い、本校の敷地内に増設した小学6年生用の校舎に6年生を通学させる小中一貫型教育をスタートして7年目を迎えた。

令和6年2月末現在は中学1～3年生451名（通常学級13・特別支援学級2）、小学6年生163名（通常学級5・特別支援学級3）が在籍しており、児童数を合わせると本市で最も人数が多い中学校である。

中学校教員による小学6年生への乗り入れ授業、合同の学校行事などをおして、一定の成果を収めている。

今年度、下記のような取組を行った。



### 2 テーマと取組

テーマ	我が広田を誇りに思う生徒の育成 広田小との小中一貫型教育の充実、中国廈門市交流事業の充実
取組	1 小中一貫型の活気ある学校づくり 2 講師招聘による講演会及び講話等の実施 3 総合的な学習の時間の充実 4 小中連携による授業改善と校内研修等による学力向上の取組 5 小中連携活動の推進 6 中国廈門市の外国語学校との交流事業の充実

### 3 実践内容と成果

#### (1) 小中一貫型の活気ある学校づくり

- ① 学校カレンダー、学校要覧リーフレット、広田小中一貫型教育リーフレット配付による啓発活動
- ② 学校行事における校訓キャラクターの活動
- ③ 生徒会を中心とした自主的活動の推進（JRC活動、のぼり旗の設置、生徒会活動横断幕掲示等による意識喚起）

【成果】学校評価 小中一貫型教育への移行・充実 3.0

各種便りやホームページ等で学校のようにすぐわかる 3.0



学校カレンダー



学校要覧リーフレット



校訓キャラクター活動



広田小中学校のぼり旗



生徒会横断幕



小中一貫型教育リーフレット

(2) 講師招聘による講演会及び講話等

- ① メディア講習会 6月2日(金) 実施

講師：長崎県メディア安全指導員 川上 貴子 様

- ② 校内研修（プレゼンテーション教育及び服務規律）8月28日(月) 実施

講師：株式会社 CLOUD-IA 松岡 祥仁 様（プレゼンテーション教育）

講師：佐世保市教育委員会 富野 毅 様（服務規律）

- ③ 2年生マナーアップセミナー 10月3日(火) 実施 講師：菅公学生服 井手 龍之介 様

- ④ 福祉の仕事の魅力伝道師による講話 10月6日(金)

講師：(株) ジャストインケア 山本 竜馬 様

- ⑤ 保健講話

3年薬物乱用防止教室 10月24日(火) 実施 講師：学校薬剤師 東島 照幸 様

2年性教育セミナー 11月13日(月) 実施

講師：佐世保市総合医療センター 朝長 ゆかり 様

1年生歯科講話 11月29日(水) 実施 講師：学校歯科医 川原 直樹 様

- ⑥ 3年生面接セミナー 11月7日(火) 実施 講師：菅公学生服 井手 龍之介 様

- ⑦ 華道体験 12月19日(火) 実施 講師：佐世保市生涯学習ボランティア 川崎 奈緒美 様

【成果】 学校評価 健康及び安全教育 3.2

中学生は、6年生に対し優しく接している 3.2



1年歯科講話



2年性教育セミナー



3年薬物乱用防止教室

### (3) 総合的な学習の時間の充実

#### <1年生>

① 野外宿泊活動 5月11日(木)～12日(金)

【成果】集団生活を通して、規則、奉仕、友情の大切さを体得することができた。

② 進路学習(職業調べなど)

【成果】自己を理解し、職業及び自分の進路に関する関心を高めることができた。

③ 歯科講話 11月29日(水)

講師：学校歯科医 川原 直樹 様

【成果】歯の健康について関心を高めることができた。

#### <2年生>

① 職場体験学習 10月25日(水)～10月27日(金)実施

【成果】勤労の尊さや働くことの意義を学ぶとともにその厳しさを体得することができた。

② 2年性教育セミナー 11月13日(月)実施

講師：佐世保市総合医療センター 朝長 ゆかり 様

【成果】健康・安全に関する知識を身に付け、命の大切さや異性に対する思いやりの心を育てることができた。

#### <3年生>

① 3年薬物乱用防止教室 10月24日(火)実施

講師：学校薬剤師 東島 照幸 様

【成果】薬物についての知識を得て、誘惑に負けない強い意志や態度を身に付けることができた。

② 面接セミナー 11月7日(火)実施 講師：菅公学生服 井手 龍之介 様

【成果】面接における心構えと受け方について知識を身に付け、高校入試に備えることができた。



1年野外宿泊活動



2年職場体験学習



3年修学旅行

### (4) 小中連携を深め授業改善と学力向上を図るための校内研修の充実

① 小中一貫型教育に係る「乗り入れ授業」(書写)の実践

② 研究授業、授業研究の実施

・経年経過研修にかかる研究授業 6～2月に計8回実施

③ 小中合同研修会の実施

・第1回を8月9日(水)に実施する予定だったが、大雨警報のため中止。2月に第1回目を実施した。小中それぞれの研究成果の発表と一昨年度から刷新した下記a～dの新しい部会で、「連携」を強化することで教育の連続性・つなぎ・系統性を持たせることを確認した。また、引き続き授業における「主体的、対話的で深い学び」の実現などを目指した。

a 教科連携部会 b 児童・生徒会連携部会 c 生活・生徒指導、保健安全連携部会  
d 特別支援教育連携部会



- ④ 配慮を要する生徒や特別支援学級生徒の生徒理解と生徒指導の充実
  - ・ 毎週金曜日の職員朝会にて情報交換・共通理解
  - ・ 毎週、生徒指導部会と特別支援教育部会をそれぞれ実施。
  - ・ 年度はじめの職員会議において配慮が必要な生徒の情報交換・共通理解を実施
- ⑤ ICT活用（プレゼンテーション教育含む）研修の実施
  - ・ 8月28日（月）、12月5日（木）、2月9日（木）の3回実施。

【成果】 学校評価	授業が「よくわかる」	3.0
	生徒を大切にしている	3.0



小6への乗り入れ授業



学力向上のための研究授業



小中連携合同研修会

(5) 小中連携活動推進

【広田小・中学校の交流活動】

- ・ 書写の授業交流（中学校教師による小学6年生への乗り入れ授業）の実施
- ・ 小中連携合同研修の実施と校訓と学習規律の共有
- ・ 小学校6年生の歓迎式の実施
- ・ 小中合同の学校行事の実施（避難訓練、6.29 平和集会、8.9 平和学習、体育大会、文化発表会、華道体験、人権学習）
- ・ 新入生オリエンテーションや部活動体験の実施（10～2月に4回実施）

【成果】 学校評価	中学生は、小学生の学びの模範になっている	2.8
	中学生は、6年生に対し優しく接している	3.2
	6年生を迎えての学校生活は、小中学生にとって楽しいものになっている	3.0

(6) 中国廈門市交流事業の充実

- ・ 小中から交流実行委員を選出し、2月28日（水）廈門外国語学校とリモートによる交流を実施

【成果】 学校評価	中学生は、小学生の学びの模範になっている	2.8
	中学生は、6年生に対し優しく接している	3.2
	6年生を迎えての学校生活は、小中学生にとって楽しいものになっている	3.0



小6歓迎式



華道体験学習



廈門外国語学校との交流



小中合同の体育大会



小中合同の文化発表会



部活動体験

#### 4 成 果

平成29年度から広田小学校6年生との小中一貫型教育をスタートさせ、今年度で7年目を迎えた。現在の取組を地域・保護者の皆様に一定の理解と評価をいただいている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられたが、インフルエンザの流行もあり、感染対策を取りながら体育大会や文化発表会など全校生徒が集まる行事を開催できた。異なる学年との交流も含め、多くの学校行事を4年ぶりに実施できたのは大変意義深かった。

また、廈門市外国語学校との国際交流をリモートで実施した。この交流は、昨年度同様小学6年生を含む交流実行委員会を立ち上げ実施することができた。児童生徒の中にも交流の意義と異文化学習による国際理解が育っているのはとても良い行事だと感じる。今年度が最終年度であったが、対面交流については、1年目の実施のみで終わりを迎えた。

小中の交流については、次年度以降も小中一貫型教育の充実期として、より一層小学校と連携を深めながら小中一貫型教育を通じて、魅力ある学校づくりを行っていきたい。今年度は、昨年課題としていた1～5年生と中学生徒の交流を実践することができたことで、小中連携が本当の意味を持つことができたと感じた。